

# 工場見学に来ていただきました！

—高松市立香南小学校 第4学年の皆さま—

発行 No.14065

2021年11月6日



10月1日（金）、香南小学校 第4学年 51名を対象に工場見学を行いました。  
同校には一昨年も工場見学に来ていただいています、今回は出前授業に参加いただいて  
から見学に来ていただきました。 (※出前授業の様子は前号(№14064)をご覧ください。)

見学では、回収されてきた缶・ビン・ペットボトルが  
機械と人の手によって選別されていく様子や、  
選別後のスチール缶が機械で大きなサイコロ状に  
圧縮・成形される様子などを見ていただきました。



また、ショベルカーで大量の缶・ビン・ペットボトルを  
すくって持ち上げると「すごい！」と歓声が上がり、その大きい音に「びっくりした！」  
という声があちこちから聞こえてきました。

回収された缶・ビン・ペットボトルの山を見ていただいた際には、  
「この中に入れてはいけないものが入っているんですが、何か分かりますか？」と尋ねると、  
すぐにたくさんの手が挙がり、  
「ペットボトルのラベルとキャップを取っていないものがある！」  
と見事正解を答えてくれました。

あまり知られていませんが、ペットボトルのキャップとラベル  
はプラスチックなので、飲み終わったらその2つを取って  
容器包装プラスチックとして出すのが正解です。



食器用洗剤や調味料が入った容器など、  
物によってリサイクル方法が異なるので  
ラベルに記載してある「リサイクルマーク」を見て分別してみてくださいね。



ペットボトルに  
表示されるマーク



ペットボトル以外の  
プラスチック製容器包装  
に表示されるマーク

見学の最後には多くの質問や感想をいただきました。  
どれも興味深いものばかりでしたが、中でも特に印象に残ったのは、  
「飲み残しなどがニオイの原因になっていると分かったので、  
気をつけたいと思いました。」という感想でした。



これは当社が長年頭を悩ませている問題でもあります。  
工場で扱っている缶・ビン・ペットボトルや容器包装プラスチック自体には  
ニオイが無いはずなのに、なぜ工場には鼻をつまみたくなるほどの  
悪臭が漂っていると思いますか？



それは、先ほどの感想にもあったように、ペットボトルの中の飲み残しや  
容器包装プラスチックに付着した食べ残しや汚れが腐敗したものが原因と考えられます。

また、それらはニオイの原因になるだけでなく、リサイクルをする過程で余計な手間に  
なったり、リサイクル品の品質低下を招いたりするため、せつかく分別されて出されて  
いたとしても、リサイクルできない可能性もあります。



リサイクルに出す際は、以下のことを守ってください。

- ペットボトルの中身を空にして、水で軽くすすぐ
- キャップやラベルを剥がす
- 容器包装プラスチックに付着した食べ残しや汚れは拭き取ったり水ですすいだりする
- 分別した状態で決められた収集日に出す



資源には限りがあります。

皆さんが当たり前のように手にしているペットボトルも、  
お菓子の袋や食品用トレイなどの容器包装プラスチックも無限にあるわけではありません。  
次の世代も私たちと同じように何不自由なく使えるようにするためには、  
私たち一人ひとりのひと手間が欠かせません。

限りある資源を未来へ繋ぐためにも、  
皆様のご協力をよろしくお願いします。

